

令和2年度 児童手当・特例給付 現況届の書き方 [記入例]

令和2年度 児童手当・特例給付現況届

(届出先) 横浜市長 令和 3 年 6 月 1 日
 令和2年6月1日の状況について、下記【誓約・同意事項】に誓約・同意の上、次のとおり届け出ます。

受給者	フリガナ	ヨコハマ タロウ		性別	男	生年月日	昭和〇年〇月〇日 平成
	氏名	横浜 太郎		年齢	〇年〇月〇日	平成	
	住所	横浜市 〇〇区 〇〇町 1-1		電話	自宅 045-〇〇〇-〇〇〇〇 携帯 080-△△△△-△△△△		
	令和2年1月1日の住所	横浜市内・横浜市外(神奈川県△△市)・国外					
配偶者	フリガナ	ヨコハマ ハナコ		生年月日	昭和〇年〇月〇日 平成		
	氏名	横浜 花子					
	住所	同居・別居 []		職業	会社員・自営業・公務員 無職・その他()		
	令和2年1月1日の住所	横浜市内・横浜市外(神奈川県△△市)・国外		勤務先等	〇〇株式会社 電話番号 045-〇〇〇-〇〇〇〇		
児童	受給者が養育(監護)している 平成14年4月2日以降に生まれた児童	続柄	生年月日	居住	生計		
	横浜 一郎	子	平成〇年〇月〇日 令和	同居	同一		
	横浜 二郎	子	平成〇年〇月〇日 令和	同居	同一		

※現況届で新たに支給対象児童を追加することはできません。

出生等により、支給対象となる児童が増えた場合は、額改定請求書の提出が必要です。

○受給者欄の書き方

- 氏性生住電話番号**
 - 氏名・性別・生年月日・住所・電話番号を記入してください。
 - すでに印字されている場合は、印字内容に間違いがないか確認してください。
 - 間違いや変更があった場合には2重線で消し、正しい内容を記入してください。
 - 児童の養育者が2名以上いる場合(父母等)は、児童の生計を維持する程度が高い方が受給者となります。
 - ※原則、家計の主宰者として、所得が高い方が受給者となります。
- 令和2年1月1日の住所**
 - 令和2年1月1日の住所で、該当するものに○をつけてください。
 - 横浜市外の場合には、市町村名までご記入ください。
 - すでに印字されている場合は、印字内容に間違いがないか確認してください。
 - 間違いや変更があった場合には2重線で消し、正しい内容を記入してください。
 - ※児童手当の審査に所得情報の確認が必要なため、ご記入いただいています。
 - 令和2年1月1日に横浜市外に居住していた方の所得情報は、マイナンバー制度による情報連携により、確認します。
 - ※令和2年1月1日時点の住所の特定ができない等の場合には、所得証明書の提出をお願いすることがあります。
- 職業**
 - 該当する職業に○をつけてください。「その他」の方は()内に記入してください。
 - 公務員の方は、所属庁からの支給となりますので、勤務先に請求が必要です。
 - 勤務先の名称、代表電話番号を記入してください。
 - 独立行政法人等に勤務の方で、公務員等の共済組合に加入している方は、法人が属する省庁等ではなく、勤務先の名称を明記したうえ、保険証のコピーを貼付してください。
- 被用者区分**
 - 加入年金等の種類が、(1)に該当する方は「被用者」、(2)、(3)に該当する方は「非被用者」に○をつけてください。
 - すでに印字されている場合は、印字内容に間違いがないか確認してください。
 - 間違いや変更があった場合には2重線で消し、正しい内容を記入してください。
- 配偶者**
 - 「有・無」のどちらかに○をつけてください。「無」の場合、配偶者欄の記入は不要です。
- 配偶者を扶養**
 - 配偶者の扶養状況について「有・無」のどちらかに○をつけてください。
- 加入年金等の種類**
 - (1)~(3)のうち、該当する項目に○をつけてください。
 - 共済組合に加入している方は、該当する共済の()に○を記入し、裏面に受給者の保険証のコピーを貼付してください。
 - 厚生年金加入者に扶養されている配偶者は(2)に該当します。
 - 地方公務員共済、国家公務員共済に加入している方は、所属庁からの支給対象でないか、勤務先に確認してください。

○配偶者欄の書き方

- 氏生年月日住所**
 - 氏名・生年月日を記入してください。別居の場合には、住所も記入してください。
- 職業**
 - 職業について該当する項目に○をつけてください。
 - 「その他」の方は()内に記入してください。
 - 公務員の方は、所属庁からの支給対象でないか、勤務先に確認してください。
 - 勤務先の名称、代表電話番号を記入してください。
- 令和2年1月1日の住所**
 - 令和2年1月1日の住所で、該当するものに○をつけてください。
 - 横浜市外の場合には、市町村名までご記入ください。
 - ※令和2年1月1日時点の住所の特定ができない等の場合には、所得証明書の提出をお願いすることがあります。

○児童欄の書き方(児童欄がすでに印字されている場合は、印字内容に間違いがないか確認してください。間違いや変更があった場合には2重線で消し、正しい内容を記入してください。)

児童の氏名等	<ul style="list-style-type: none"> 受給者が養育する18歳までの児童(*)全員について、氏名・続柄・生年月日を記入してください。 *「18歳に達して以降最初の3月31日までの間にある者」のことをいいます。学齢では高校修了までの児童のことで、記入漏れにご注意ください。
居住	<ul style="list-style-type: none"> 受給者と児童の居住状況について同居・別居のどちらかに○をつけてください。 別居の場合は、別途、申立書の提出が必要となります。 児童が「留学」をしている場合は、別途、証明書等の提出が必要となります。

生計	<ul style="list-style-type: none"> 続柄が「子」(養子含む)の場合は「同一」に、続柄が「子」以外の場合は「維持」に○をつけてください。 「維持」の場合、別途、申立書等の提出が必要となります。 *児童からみて父母以外の養育者が請求する場合は、「維持」となります。
----	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------